

投票用紙の二重交付について

発生状況

投票用紙は、1人1枚交付しなければならないことから、投票用紙を10枚ずつ机上に並べ、適宜、投票事務従事者が互いに声を掛け合って、机上の投票用紙の残数を確認していた。

午後4時45分頃、職員の1人が席を離れる際に、机上の市長選用の投票枚数の残数と、別の机上にある市議会議員選挙用の投票用紙の残数が一致していることを目視で確認した。しかし、午後5時頃、別の職員が投票用紙の残数を確認したところ、市長選挙用の投票用紙の残数が1枚不足していることに気が付いた。

その後、残りすべての投票用紙の枚数、投票所入場券の枚数、入場券に打刻した通し番号の照合を行いつつ、机周辺を探したが、最後まで発見できなかった。

開票の結果、投票者数より投票総数が1票多かったことを受け、1人の有権者に投票用紙を2枚交付した可能性があると判断し、開票の結果に併せて発表した。

選挙長のコメント

弥勒寺保育園投票所における、市長選挙に際し、1人の選挙人に2枚の投票用紙を交付するというミスが発生した可能性があります。しかし、選挙の結果には影響が及ばないと判断し、結了とした。こうした事案は、これまで発生したことはなかったと承知していますが、今後このようなことが発生しないように、しっかり対策をしてまいります。誠に申し訳ありませんでした。

今後の対応方針

10枚を机上に並べて1人1枚交付すべきところ、混雑のため、票の束から直接手渡しで交付したことにより二重交付となった可能性が高いことから、机上に並べることを再度徹底いたします。